

委員ご発言への対応状況等

1 第11回運営委員会でのご発言への対応状況

ご発言	対応状況（計画（案）への反映状況）
VRをうまく用いれば、非常に臨場感のある体験ができるので、そういったものの導入は重要。	防災シアターにおいて、VRの体験を追加（資料2 P22）
地震体験はあるが、近年はインパクトを重視する傾向になるので、インパクトを強くする方向で検討してはどうか。	地震体験における映像の追加（資料2 P23）
液状化に関して認識を高めるようなものを導入してはどうか。	「津波・液状化・避難所コーナー」を新設（資料2 P23）
ケーススタディであったり、そういったものを持ち帰る機能も検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇×クイズコーナー」を新設（資料2 P27） ・インターネットを利用したWEB連携を強化し、来館前後の予習復習への活用を推進（資料2 P16）

2 第12回運営委員会でのご発言への対応状況

ご発言	対応状況（計画（案）への反映状況）
最初に心構えを持つためのガイダンスが必要では？	「ガイダンスコーナー」を新設（資料2 P22）
避難所運営の情報展示があると良い。	「津波・液状化・避難所コーナー」を新設（資料2 P23）
<ul style="list-style-type: none">・ 来館すると災害に備えるために防災グッズをそろえようという気持ちが高まるが、帰宅すると気持ちが冷めてしまう。・ 防災グッズの展示はするが、販売はせず、ネットで購入してもらおうような仕組みにしている事例がある。ネット販売も1つの手段。	「災害に備えるコーナー」を新設し、備えておきたい防災グッズについては手に取ってみることができるほか、それらの防災グッズを販売する仕組みも検討します。（資料2 P28）
子どもや女性、高齢者など来館者の属性に合わせて解説の仕方を変えるなどの工夫があっても良い。	団体の属性やニーズに応じたプログラムを提供（資料2 P32）